

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 ウィッシュ・プロジェクト（事業継続中）
アドレス（HP、ツイッター、FB等）	https://www.wish-p.jp
事業の名称	地域ケアのオープンダイアログ～心を癒し、地域を活性化する
事業の目標	多様性を尊重し、率直な対話を通じて、お互いの違いを認め合うアプローチであるオープンダイアログの取り組みの主な目的は、この対話を通じて、「支えられる人は支える人」という相互支援の関係性を築き、地域全体の絆を深めていくことです。個人が地域や組織の一員として受け入れられ、つながりを持つことで、全体がより開かれ、しなやかな個人や地域、組織を目指しています。つまりオープンで対話的な関係性を築くことで、地域課題の解決や活性化に参加者全員が主体的に取り組めるようなつながりの創出がこの先の重要な目的となっています。
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	講師をお招きし、地域活動を行っている人やNPO・市内の事業所などの組織に属していながら何らかの課題を抱えて解消したいと考えている人を対象に、2024年9月から毎月1回全4回セミナー形式で行いました。 4回の講座でのワークショップや講座終了後の座談会などを行った内容やオープンダイアログの基本的な理論を入れたテキストを作成しました。テキスト編集は、15歳の若者が協力し、新しい視点とエネルギーを今回のテキスト作りに提供してくれました。
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	・第1回目 9/25(水)13時30分～15時30分 職場の雰囲気（紛争、対立、個人主義など）改善のためのOD 参加者：6名 ・第2回目 10/23(水)13時30分～15時30分 会社視点の主体性 社員の主体性を伸ばすOD 参加者：10名 ・第3回目 11/20(水)13時30分～15時30分 若手定着率向上のためのOD 参加者：8名 ・第4回目 12/25(水)13時30分～15時30分 組織内オープンダイアログの対話 参加者：10名 オープンダイアログの理解が深まり、参加者は自らの組織のおいても適用できるスキルを学びました。 成果物のテキストは、オープンダイアログ啓発のために幅広く配布し、より多くの人々にオープンダイアログの理解を深めてもらいます。

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

目標の達成度 (自己評価)	☐ 1. 達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☒ 2. ある程度達成できた ☐ 4. 達成できなかった
自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	当初の計画では参加者数を確保し、テキストの編集や印刷などの経費の活用をする予定でしたが、集客が少なく当初の参加者数が確保できませんでした。しかし、新たに15歳の若者が編集の協力をしてくれたり、オープンダイアログに興味を持ってくださった団体との新たな繋がりと、違う視点の風が吹き込まれ、素晴らしい成果物を作ることができました。
今後の課題・抱負	地域ケアのオープンダイアログは、まだまだ途上にあります。引き続きオープンダイアログの啓発活動を推進し、多くの団体や組織が効果的に活用できるようにサポートをしてまいります。 また、実践を積むことにより新たな事例が増えていくことは考えられますので、さらに対話の土壌を広めていきたいと思います。
活動状況について	

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

- ・ODなんでも相談・・・毎月1回実施
- ・OD形式のお仕事なんでも相談・・・3月お試し実施
- ・OD基礎講座全10回・・・5月～10月実施
- ・ODステップアップ講座全10回・・・2024年10月～2025年3月実施
- ・組織向けOD講座全4回・・・9月～12月
- ・ODを通して地域の家族会「みたか親の会」と連携した定期的な勉強会・・・月1回勉強会、月3回の実践会